

1. ジャンル おおむね 100 ページ以上の単著または複数の寄稿者によるモノグラフを公募する。具体的には,
 - a) 分野と方法論的には本学会の大会の発表条件に当てはまる内容を一部に含めば、他に関連分野の内容が含まれていてもよい。方言記述や一次資料のデータ提示の場合は地図が含まれなくともよい。
 - b) 必ずしも新規原稿だけでなく、公刊済みの論文を集めたものや、翻訳であってもよい。博士論文・修士論文などを改定したもの、科研費報告書などでもよい。
 - c) 記念論文集など多数の寄稿者からなるものでもよい。外国に在住する著者を含む場合は、編者ないし紹介者が日本の法規・慣例に沿うように介在する責任を持つ。
2. 使用言語 どの言語のものであってもよいが、英語以外の言語の場合は英語による書名と当該書の要旨が必要で、更に英語による著者名・目次および論文集である場合は各論文のサマリーが含まれているとなおよい。非母語で執筆されているものは必ず内容の理解できる母語話者のチェックを経ること。
3. サイズと分量 電子出版のみの場合は B5, A5 とともにカラー図版を入れることができる。MyISBN からの紙版の発行も希望する場合は A4 だと白黒図版のみとなるので、カラー図版を入れる場合は B5 とされたい。頁数の制限は設けないが、版面は合理的に使用して、必要にして十分な記述を旨とする。分量が多いものは適宜分冊としてもよいが、500 頁を超えるものは必ず分冊にすること。
4. 法規と研究倫理 日本の著作権法と研究規範を遵守すること。出版済みのものについては発行元に対する交渉をすべて投稿者が済ませる。寄稿者はネットによる公衆送信権を本学会に対して許諾したこととなる。問題が生じた場合は寄稿者が全面的に責任を負い、本学会は発行を取り消す以外の一切の責任を負わない。
5. 投稿資格者 日本に在住する者は誰でも投稿できる。外国に居住する者は日本の著作権法や研究規範をよく理解し、尊重し、かつ日本在住の紹介者がいることを要する。問題が生じた場合は紹介者が解決に協力する。査読は行わないが、採否については世話人会が決定し、改善意見を出すことがありうる。
6. 版面の形式 新規原稿は学会誌のテンプレートに沿うのが好ましいが、内容に応じて適切な版面を採用してもよい。また、出版済みのものや本当に必要な場合は手書きのものをスキャンして収めることも差し支えない。表紙と奥付などについては統一的な形式を定めるが、それ以外はそのまま発行するので完成原稿を提出されたい。校正のプロセスはない。
7. 提出期限と原稿送付先 特に提出期限は設けず、適宜受け付ける。採否は世話人会の合議により決め、遅くとも 3 ヶ月以内に採否の通知が行く。原稿は gsjhenshu [at] yahoo.com ([at]を@に変えてください)に pdf で送る。着信すると自動的に通知が届く。

8. 発行時期と公開方法 採択後遅くとも 3 ヶ月以内に pdf 版が zenodo にアップされ、DOI も賦与され、本学会ウェブサイトとそのリンクが公開され、誰でも無料でダウンロードできるようになる。学会誌と同一 ISSN が賦与される。zenodo はクリエイティブ・コモンズ Ver.4 に準拠しているので、投稿した時点でその条件も受諾したこととなる。紙版も刊行したい者は自分の責任で <https://myisbn.jp/help> に発行委託し、所定の手数料を払う。その印税は著者に帰属する。共著については MyISBN に申し込みをした代表者の采配による。表紙ないし奥付には本学会モノグラフの表示が入る。
9. 改定 この要項は適宜世話人会の議を経て改定されることがあるので、当該年度のものを参照されたい。